

編集・発行
町田市男女平等推進センター
運営委員会
町田市原町田4-9-8
町田市民フォーラム3階
Tel. 042-723-2908



公民館自主男女共生学級・男女平等推進センター共催講演会より

私たちがめざす男女共同参画社会とは？



諸橋泰樹さん (フェリス学院大学教授、
専門 マスコミュニケーション学・社会学・
女性学) のお話を伺いました。
内容の一部をご紹介します。

人は、自然界や社会の様々な物事を、分類し名づけることで認識し「わかった」と安心する、という思考をします。人も性別でくくってしまいます。しかし、人は「男」「女」では分けられないことが、生物学的にもわかってきました。世界の流れは性別や人種を超えて多様性を認める方向へ向かっています。日本では未だステレオタイプの「男らしさ、女らしさ」に縛られている傾向があります。

「男らしさ、女らしさ」については、赤ちゃんの時代から始まり、服の色から与えるオモチャ、大人からの働きかけや期待の方向性も違ってきます。子どもはそれらを意識せずに身に付けていきます。

社会に出て、「男は外で働く、女は家事・育児・介護」という「性別役割分業」は根強く残り、男性は依然として経済的責任を求められるため、長時間労働が非正規・低賃金化の二極化で結婚が遠のき、女性は子育てしながら働き続ける困難さに結婚・出産をためらい、少子化はますます進んでいきます。

世界に目を向けると女性が働きやすい国ほど出生率が高くなっています。

「性別役割分業」は男女一人で一人前です。そのため、どちらかが欠けると(病気・死別・離婚)大変な状況になります。これからは誰もが一人前に生きられ、その上で男女が助け合える社会を実現しなければなりません。それが私たちがめざす男女共同参画社会です。

男女平等推進センター講演会

「平安の自由闊達な女性たち —今様歌謡集「梁塵秘抄」より—

平安末期の流行歌(はやりうた)今様を通して、当時のたくましい女性の姿を学んでいきます。

講師：彦由 三枝子さん(政治経済史学会会長、武蔵野文化協会理事)

日時：10月14日(水) 14:00~16:00

会場：町田市民フォーラム 3階ホール 180名(申し込み順)

申し込み：9月11日正午 から電話で町田市コールセンター(電話724-5656)へ

男性のための料理教室

「ソバ打ち名人に教わる手打ちソバ」

日時：11月1日(日) 10:00~14:00

会場：町田市民フォーラム 3階調理室

講師：蕎麦店店主

定員：男性20名 材料費：1,000円

申し込み方法は、10月11日号の広報まちだ、町田市ホームページでご案内します。

DV(ドメスティック・バイオレンス)防止啓発講座

「DVを乗り越えて」

DVから回復した体験談をお聞きし、DVの理解と支援について考えていきます。

日時：10月25日(日) 14:00~16:00

会場：町田市民フォーラム 4階第1学習室

講師：三木多佳子さん 定員：女性40名

申し込み方法は、10月1日号の広報まちだ、町田市ホームページでご案内します。

開催された講座から

再就職準備セミナー

「私らしく再就職
なりたい私が
わかれば、だいじょうぶ！」

(7月16日実施)



育児や介護などで仕事を離れた女性を対象に、人材コンサルタントによる講義や適職発見ワークシート作成など充実した内容で行われました。「なりたい私」をイメージし、再就職への第一歩を踏み出していただきました。

父子料理教室

父子(おやこ)でチャレンジ!

(8月1日実施)



簡単おやつづくり

父子でのおやつづくりは新鮮で、楽しい時間になったと好評でした。

初めての挑戦でしたが、おいしく出来上がったクッキーとフルーツポンチに「またお父さんとチャレンジしたい!」の声も聞かれました。

館シネマでトーク

センターには素晴らしい映画が沢山あります。大きなスクリーンで観て感想などを話し合いましょう。無料です。

* 9月8日(火) 14:00~
「ミルドレッド」 米・仏

1996年 106分
中年女性が自分自身の人生を見つけるまでを暖かく見つめる物語

* 10月13日(火) 14:00
「変臉(へんめん)」 中国

1996年 101分
長江のほとりを舞台に老人と少女の無垢な魂のふれあい!

* 11月10日(火) 14:00~
「母たちの村」 仏・セネガル

2004年 124分
女子割礼を逃れたい少女達の叫び、カンヌ映画祭、ある視点部門グランプリ作品

上映場所：活動室(3F)

新刊書紹介

図書貸出しやDVD・ビデオの視聴ができます!

「それ、恋愛じゃなくてDVです」 瀧田信之著 WAVE出版

DVは、殴る蹴るだけではありません。彼氏に怒鳴られたりイヤミを言われる、携帯電話をチェックされる、行動や好みを管理し束縛される、避妊に協力しないセックスも「ドメステイック・バイオレンス」DVです。このような精神的な暴力を受け続けると人は無気力になり逃げられないようにコントロールされる危険が潜んでいます。そんな自分に気づいて一歩踏み出すために、女性たち必読の警告書。

「男たちのワークライフバランス」 ヒューマンリソース研究所編 幻冬舎

「仕事と子育ての両立」という、これまで女性たちが悩んできたテーマがいま男性の眼前に迫っています。働き盛りだった中、子育て盛りだった中、どちらも大切、あきらめきれない—そんなライフスタイルを選ぶ若い男性たち。がんばっている男性の本音や、悩める彼らへの「これから」に向けたヒント、法的な支援策も盛り込み、今後の男女の働きかたの未来図を描いてくれます。

「自殺が減ったまち」 本橋豊著 岩波書店

日本で最も自殺率が高い「秋田県」。その汚名を返上しようと、県の6つのまちで自殺予防の取り組みが行われた結果、4年間で自殺を47%減らすという実績を上げました。自殺問題をタブー視せず、市民への啓発活動、うつ病対策、経済問題や法律問題の解決のための相談体制を充実させるなど、「安心して助けを求められることができる環境づくり」を進めた実践は、他の自治体も大いに参考にすべきものです。

男女平等推進センターに団体登録しませんか?

男女平等推進センターでは、「男女平等推進に関する活動をする団体・グループ」を支援するため団体登録を実施しています。登録した団体は、活動のために使用する部屋(活動室など)を無料で利用できます。

登録団体になって活動の幅を広げるとともに、一緒に男女平等フェスティバルに参加しませんか。

詳細はセンターまで問い合わせを。

☎ 042-723-2908

